



さいたま市



もっと身近に、  
もっとしあわせに

# たていわ通信

平成31年4月・令和元年5月号

さいたま市立館岩少年自然の家

TEL 0241-78-2311

FAX 0241-78-2313

【基本理念】 自然に触れ 自然に学び 自然で鍛える

URL <http://www.saitama-city.ed.jp/05gakko/sizennoie/tateiwa/index.htm>

たくさん残っていた雪もとけ、新緑の彩りを目にするようになりました。屋外で活動するには絶好の日々が到来しています。「平成」から「令和」へと時代の節目を経て、令和元年度の自然の教室がいよいよ始まりました。

豊かな自然体験を通し、子どもたちが感動を重ねながら「生きる力」を育むことができるよう、環境整備等の受け入れ準備を進めました。子どもたちにとって一生の思い出となる自然の教室を実現するため、所員一同努めてまいります。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

## 活動コーナー

2泊3日の自然の教室（夏季）。今月号では1日目の様子を紹介いたします。



### 5月9日（木）入所式

今年度の自然の教室（夏季）最初の入所校です。実行委員の司会のもと、立派な態度で入所式に臨むことができました。

【栄小学校】



### 5月11日（土）

#### キャンプファイヤー

ゲームにダンスに大いに盛り上がったキャンドルファイヤー。戻り道も幻想的なファイヤーロードの中を歩きました。

【西原小学校】



### 5月10日（金）

#### フィールドワーク

地図に示されたポイントを見つけ、自然に関する問題に答えました。大自然の中で、グループで協力して取り組みました。

【大宮小学校】

多くの自然体験活動ができます。工夫を凝らした各校独自の取り組みもございます。

## 館岩少年自然の家にも春がやって来ました

所長 佐藤浩市



5月中旬撮影

敷地内のヤマツツジです。

新しい時代「令和」を迎え、5月9日から今年度の自然の教室がスタートしました。大きな荷物を抱え、「こんにちは」という元気な挨拶とともに、今年も館岩の春がやって来ました。各学校がそれぞれの思いをスローガンに込めて、児童の実態に合わせた活動を展開しています。

私たち所員一同は、子どもたちが自然の中で生き生きと様々な感動体験を行い、忘れられない思い出となるよう、一丸となって学校をサポートしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

〈裏面に続きます〉

4月17日から18日に、館岩少年自然の家にて「自然の教室（夏季）実施担当教員現地研修会（前期）」を開催しました。当日は72校の先生方が参加しました。

参加した先生方からは「実際に活動することでイメージすることができました」「親切、丁寧に教えていただき、安心して取り組みました」等の言葉をいただきました。



前山登山を行いました。中腹まで行き、下山しました。まだ雪が残る山肌を横目にしながら実際のコースを歩き、実際の指導に役立てることができるよう、取り組んでいました。

新規プログラムのアウトドアゲーム、キーパンチに挑戦しました。1から30まで書いてある板を順に踏んでいきます。相談し工夫することでどんどん速くなり、チームワークの向上を実感しました。



概要説明では、所員からの説明を通して、実施に向けての手続きや自然の家の利用の仕方等を学びました。



## プログラム紹介「小枝でえんぴつ作り」



このプログラムでは、「自然を観察する力」と「創造性」を養うことができます。手作りのよさや道具の使い方を知りながら、自分だけのオリジナルのえんぴつを作ることができます。小枝に穴を開け、芯を入れます。ナイフで削って、実際に使用できるように丁寧に仕上げます。

自然の家の敷地内には、たくさんの種類の樹木がございます。木をよく観察し、硬さや質感など、それぞれの木のちがいを感じとることができる活動です。

## 自然探訪コーナー 5月



### ゼンマイ

ゼンマイ科ゼンマイ属の夏緑性多年草の植物です。全国の林下や陽地に自生しています。若い葉は柔らかい毛で覆われています。自然の家の敷地内でも見ることができます。



### ミツバアケビ

アケビ科アケビ属の落葉つる性木本です。本州以南の林縁に生えます。小葉は3枚で、波状の鋸歯(きょし)があります。若芽は食べることができます。秋に甘い果実がなります。自然の家の敷地内でも見ることができます。